

職員配布用

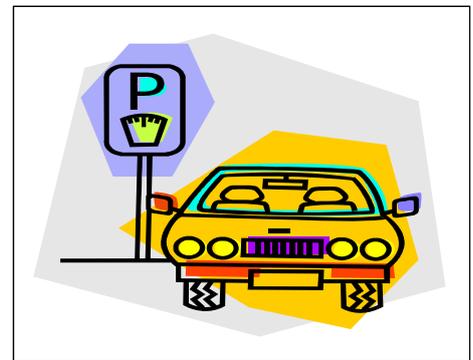
交通加害事故防止職員研修会資料（後進中の事故防止編）

4月の事故で目立つのは後進中の接触事故です。車の後方は運転席から見えにくく死角になる箇所も多くあります。

「ヒヤッ」としたり、「ハッ」としたりする経験は誰にもあると思います。事故は決して他人事ではなく、ちょっとした油断で誰でも起こす可能性があることです。常に安全運転に努めてください。

1 後進中の接触事故の主なパターン

- ・ 右左折すべき交差点を行き過ぎたことに気づいて、後進で戻ろうとして後方に停止中の車に接触
- ・ 駐車スペースから後進中に後方を横切る車（自転車）に接触
- ・ 後進して駐車する際に横に駐車している車に接触



2 後進中の接触事故の主な原因

- ・ 後方確認の不足
- ・ 運転操作のミス

3 後進中の事故を防ぐには…

- ・ 駐車スペースから後進する場合は車に乗る前に車の後方を確認しましょう。特に小学校や幼稚園、公園などの駐車場は子どもが隠れていることがあります。
- ・ 急なバックは危険です。発進は一呼吸置いて歩くぐらいのスピードで行いましょう。同乗者がいる時は誘導してもらいましょう
- ・ ミラーやバックモニターだけでは十分な確認はできません。必ず自分の目で確認しましょう。また、窓を開けておくと音声で自動車や歩行者に気づくこともあります。
- ・ 狭いスペースに駐車する際は無理せずに、何回か切り返して安全に駐車しましょう。
- ・ 道を間違えて戻るなど、路上でやむを得ず後進する場合は慌てずに後方確認、徐行による移動を行いましょう

交通安全年間スローガン入選作品

- ・ せまい路地 一度止まって 目で確認
- ・ 「まだ行ける」そんな言葉に赤信号
- ・ 相手には あなたが見えない交差点
- ・ 広げよう どうぞの気持ちと車間距離